

「英語教育強化地域拠点事業」における取組及び 小学校英語の早期化・教科化に対応した補助教材等の検証について

平成26年度より開始した「英語教育強化地域拠点事業」の29拠点（研究校217校、そのうち小学校は116校）において、次期学習指導要領改訂に向けた先進的な取組を行うとともに、新教材作成の参考とするため、文部科学省作成の教材（“Hi, friends!”）及び小学校英語の早期化・教科化に対応した補助教材（“Hi, friends! Plus”、絵本教材“In the Autumn Forest” “Good Morning”）を活用した取組について検証を実施。

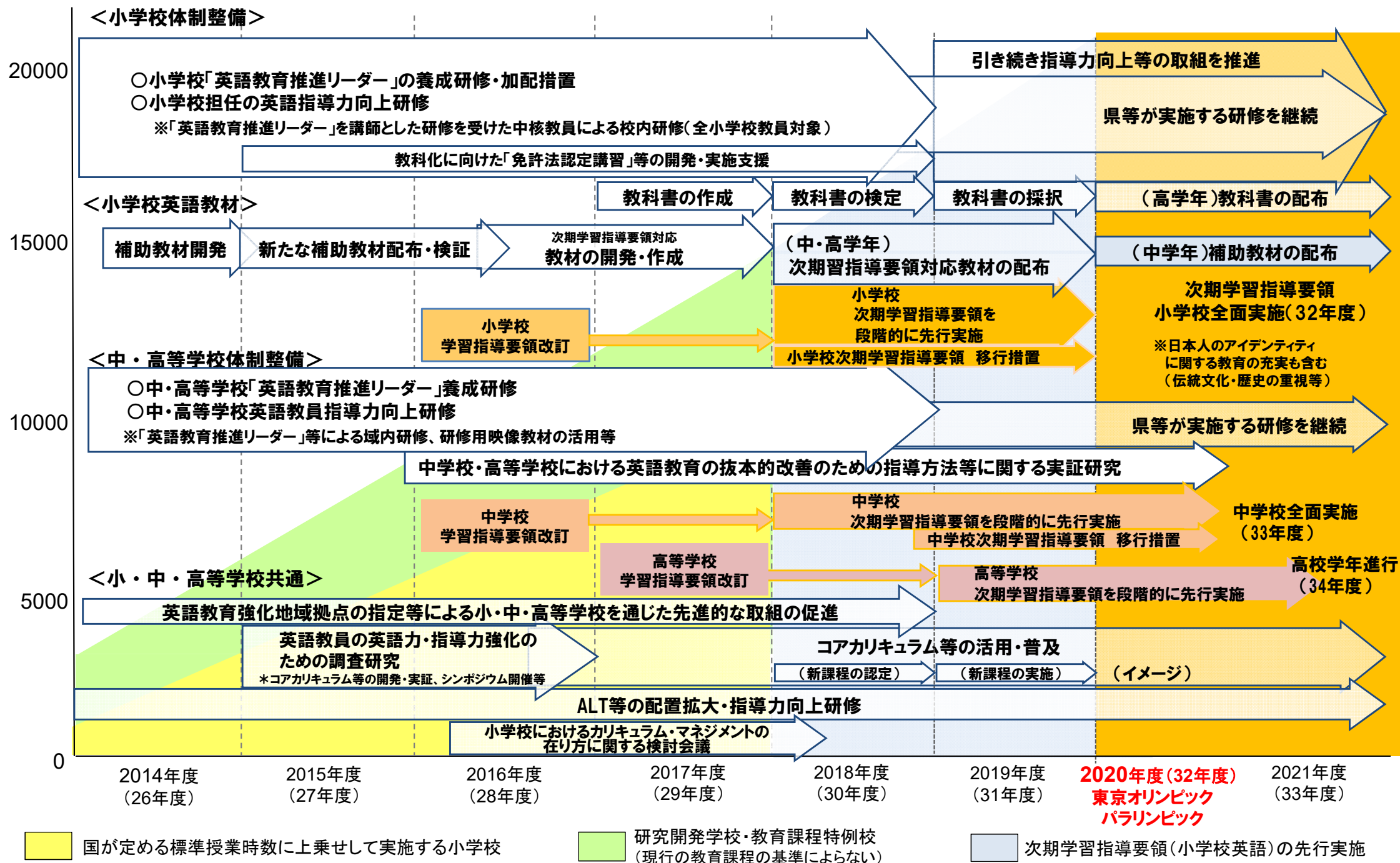
本資料は、現時点において取りまとめた「英語教育強化地域拠点事業」の取組事例、及び補助教材等の全体の検証結果である。

- 1 「英語教育強化地域拠点事業」及び文部科学省作成補助教材について・・・1～14
- 2 取組事例の紹介
 - 小学校（研究校）における外国語活動・外国語科の取組事例
 - 【（小学校中学年）「聞くこと」「話すこと」に関する取組事例】（1事例）・・・15
千葉県
 - 【「読むこと」「書くこと」に関する取組事例】（9事例）・・・16～24
埼玉県、山口県、京都教育大学附属桃山小学校、山形県、福井県、鳥取県、徳島県、鹿児島県
 - 【アルファベットの文字に関する取組事例】（2事例）・・・25～26
福岡県、宮城教育大学附属小学校
 - 【語順などの文構造に関する取組事例】（1事例）・・・27
島根県
 - 【弾力的な授業時間の設定や時間割に関する取組事例】（2事例）・・・28～29
鹿児島県、奈良県
 - 【小学校教員の指導力向上に関する取組事例】（5事例）・・・30～34
北海道、奈良県、福岡県、栃木県、秋田県 ※「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」における取組を含む
 - 小・中・高等学校を通じた取組事例
 - ・山形県の取組事例・・・35～46
 - ・群馬県の取組事例・・・47～58
- 3 「英語教育強化地域拠点事業」における取組状況及び教材等の検証結果
 - 平成28年度 英語教育強化地域拠点事業における取組状況（案）・・・59～73
 - 平成28年度 英語教育強化地域拠点事業の小学校「活動型」「教科型」
における指導・活動・教材用チェックリストの結果概要（案）・・・74～87

文部科学省初等中等教育局国際教育課
平成29年1月30日現在

グローバル化に対応した英語教育改革実施計画スケジュール(イメージ)

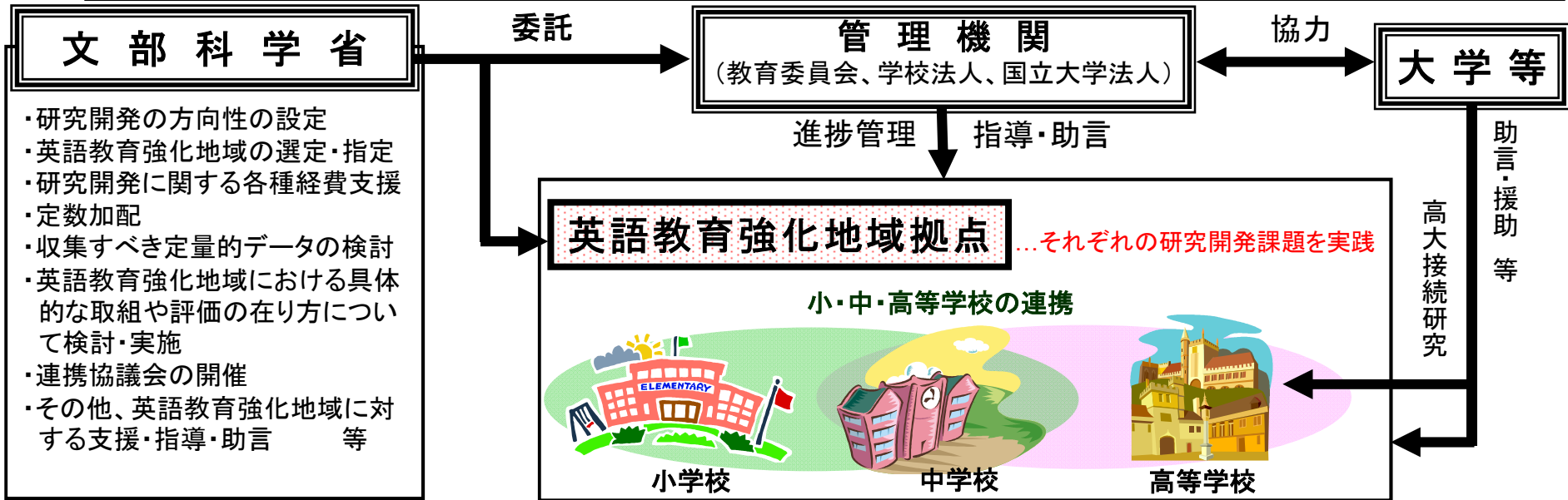
(小学校数)



(1) 英語教育強化地域拠点事業

平成28年度予算額 84,628千円(89,267千円)

概要	教育再生実行会議 第三次提言 (H25. 5. 28)	第2期教育振興 基本計画 (H25. 6. 14)	グローバル化に対応した 英語教育改革実施計画 (H25. 12. 13)	英語教育の在り方に関する 有識者会議 報告 (H26. 9. 26)	中央教育審議会における 審議 論点整理 (H26. 11~H27. 8)
	<p>〈今後の英語教育の方向性〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 小・中・高を通じて「英語を使って何ができるようになるか」という観点から、四技能に係る一貫した具体的な指標の形式で示す 小学校では、中学年から外国語活動を開始し音声に慣れ親しませるとともに、高学年では、学習の系統性を持たせる観点から教科として行う、中学校では、授業は英語で行うことを基本とする、高等学校では、幅広い話題について発表、討論・議論、交渉などを行う能力を高める これを踏まえ、先進的な取組を支援するとともに、その成果を今後の英語教育の在り方に関する検討に生かす <p>※ 委託事業：25地域(都道府県・政令指定都市教育委員会、国公私立大学法人、学校法人)</p>				



■ 研究開発課題(例)

- (1) 小・中・高等学校を通じた目標の設定
- (2) 小学校では、中学年から外国語活動開始及び高学年での教科化
- (3) 中学校では、互いの考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を重視、授業は英語で行うことを基本とする。
- (4) 高等学校においては、幅広い話題について発表、討論・議論、交渉などを行う能力を高めること
- (5) 小中・中高の学びが円滑に行われるための取組 等

■ 検証すべき取組・データ(例)

- 英語運用能力に関する評価研究
- 小学校の新たな外国語教育における補助教材を活用した研究
- 英語学習に対する関心・意欲
- 他教科等への影響 等

(参考)平成28年度「英語教育強化地域拠点事業」研究校一覧

採択：29件、217校

設置者	学校数 〈内訳〉	学校名
★北海道 (4)	4 〈高1,中1,小2〉	北海道寿都高等学校、寿都町立寿都中学校、寿都町立寿都小学校、寿都町立潮路小学校
★岩手県 (5)	5 〈高1,中1,小3〉	岩手県立紫波総合高等学校、紫波町立紫波第一中学校、紫波町立日詰小学校、紫波町立赤石小学校、紫波町立古館小学校
★秋田県 (3)	3 〈高1,中1,小1〉	秋田県立由利高等学校、由利本荘市立由利中学校、由利本荘市立由利小学校
山形県 (7)	7 〈高2,中1,小4〉	山形県立鶴岡南高等学校、山形県立鶴岡中央高等学校、鶴岡市立鶴岡第二中学校、鶴岡市立朝陽第三小学校、鶴岡市立朝陽第五小学校、鶴岡市立京田小学校、鶴岡市立栄小学校
★群馬県 (12)	12 〈高3,中3,小6〉	群馬県立渋川女子高等学校、群馬県立嬭恋高等学校、群馬県立沼田女子高等学校、前橋市立第一中学校、嬭恋村立嬭恋中学校、沼田市立沼田中学校、前橋市立桃井小学校、前橋市立城南小学校、嬭恋村立東部小学校、嬭恋村立西部小学校、沼田市立沼田東小学校、沼田市立沼田北小学校
★埼玉県 (9)	9 〈高2,中2,小5〉	埼玉県立鴻巣女子高等学校、埼玉県立宮代高等学校、鴻巣市立川里中学校、宮代町立百間中学校、鴻巣市立屈巢小学校、鴻巣市立共和小学校、鴻巣市立広田小学校、宮代町立東小学校、宮代町立笠原小学校
★千葉県 (6)	6 〈高1,中2,小3〉	千葉県立流山おおたかの森高等学校、流山市立南流山中中学校、流山市立西初石中学校、流山市立南流山小学校、流山市立西初石小学校、流山市立鱈ヶ崎小学校
東京都 (7)	7 〈高2,中2,小3〉	東京都立上水高等学校、東京都立飛鳥高等学校、荒川区立第七中学校、武蔵村山市立第三中学校、荒川区立尾久第六小学校、武蔵村山市立第三小学校、武蔵村山市立雷塚小学校
神奈川県 (4)	4 〈高1,中1,小2〉	横須賀市立横須賀総合、横須賀市立常葉中学校、横須賀市立諏訪小学校、横須賀市立田戸小学校
★福井県 (13)	13 〈高1,中3,小9〉	福井県立勝山高等学校、勝山市立勝山南部学校、勝山市立勝山中部学校、勝山市立勝山北部学校、勝山市立平泉寺小学校、勝山市立成器南小学校、勝山市立成器西小学校、勝山市立村岡小学校、勝山市立三室小学校、勝山市立野向小学校、勝山市立荒土小学校、勝山市立鹿谷小学校、勝山市立北郷小学校
山梨県 (31)	31 〈高5,中9,小17〉	山梨県立白根高等学校、山梨県立甲府昭和高等学校、山梨県立韮崎高等学校、山梨県立笛吹高等学校、山梨県立市川高等学校、南アルプス市立白根巨摩中学校、昭和町立押原中学校、韮崎市立韮崎西中学校、韮崎市立韮崎東中学校、笛吹市立春日居中学校、市川三郷町立三珠中学校、市川三郷町立市川中学校、市川三郷町立市川南中学校、市川三郷町立六郷中学校、南アルプス市立白根東小学校、南アルプス市立白根飯野小学校、昭和町立押原小学校、昭和町立西条小学校、昭和町立常永小学校、韮崎市立韮崎小学校、韮崎市立穂坂小学校、韮崎市立韮崎北東小学校、韮崎市立韮崎北西小学校、韮崎市立甘利小学校、笛吹市立春日居小学校、市川三郷町立上野小学校、市川三郷町立大塚小学校、市川三郷町立市川小学校、市川三郷町立市川南小学校、市川三郷町立市川東小学校、市川三郷町立六郷小学校
長野県 (9)	9 〈高1,中2,小6〉	長野県小諸高等学校、小諸市立小諸東中学校、小諸市立芦原中学校、小諸市立東小学校、小諸市立坂の上小学校、小諸市立野岸小学校、小諸市立水明小学校、小諸市立千曲小学校、小諸市立美南ガ丘小学校

設置者	学校数 〈内訳〉	学校名
★岐阜県 (7)	7 〈高2,中2,小3〉	岐阜県立長良高等学校、岐阜県立大垣西高等学校、岐阜市立長良中学校、大垣市立星和中学校、岐阜市立長良西小学校、大垣市立中川小学校、大垣市立小野小学校
京都府 (7)	7 〈高2,中2,小3〉	京都府立東宇治高等学校、京都府立園部高等学校、宇治市立黄檗中学校、南丹市立殿田中学校、宇治市立宇治小学校、南丹市立胡麻郷小学校、南丹市立殿田小学校
★兵庫県 (6)	6 〈高1,中2,小3〉	兵庫県立生野高等学校、朝来市立生野中学校、朝来市立朝来中学校、朝来市立生野小学校、朝来市立中川小学校、朝来市立山口小学校
★奈良県 (9)	9 〈高2,中3,小4〉	奈良県立桜井高等学校、奈良県立高取国際高等学校、奈良市立平城西中学校、御所市立葛中学校、明日香村立聖徳中学校、奈良市立右京小学校、奈良市立神功小学校、御所市立葛小学校、明日香村立明日香小学校
★鳥取県 (3)	3 〈高1,中1,小1〉	鳥取県立八頭高等学校、若桜町立若桜学園中学校、若桜町立若桜学園小学校
★島根県 (4)	4 〈高1,中1,小2〉	島根県立三刀屋高等学校、雲南市立吉田中学校、雲南市立吉田小学校、雲南市立田井小学校
★広島県 (4)	4 〈高1,中1,小2〉	広島県立賀茂高等学校、東広島市立松賀中学校、東広島市立東西条小学校、東広島市立御園宇小学校
山口県 (3)	3 〈高1,中1,小1〉	山口県立光高等学校、光市立室積中学校、光市立室積小学校
★徳島県 (5)	5 〈高1,中1,小3〉	徳島県立阿波西高等学校、阿波市立阿波中学校、阿波市立久勝小学校、阿波市立伊沢小学校、阿波市立林小学校
★高知県 (9)	9 〈高2,中3,小4〉	高知県立高知西高等学校、高知県立岡豊高等学校、南国市立香南中学校、中土佐町立久礼中学校、大豊町立大豊町中学校、南国市立日章小学校、南国市立大湊小学校、中土佐町立久礼小学校、大豊町立おおとよ小学校
福岡県 (14)	14 〈高3,中2,小9〉	福岡県立筑紫中央高等学校、福岡県立直方高等学校、福岡県立鞍手竜徳高等学校、那珂川町立那珂川南中学校、宮若市立宮若西中学校、那珂川町立安德小学校、那珂川町立南畑小学校、那珂川町立岩戸小学校、那珂川町立安德南小学校、宮若市立若宮小学校、宮若市立笠松小学校、宮若市立山口小学校、宮若市立若宮西小学校、宮若市立吉川小学校
熊本県 (5)	5 〈高1,中2,小2〉	熊本県立高森高等学校、高森町立高森東中学校、高森町立高森中学校、高森町立高森東小学校、高森町立高森中央小学校
鹿児島県 (16)	16 〈高2,中2,小12〉	鹿児島県立大口高等学校、鹿屋市立鹿屋女子高等学校、伊佐市立大口中央中学校、鹿屋市立鹿屋中学校、伊佐市立大口小学校、伊佐市立大口東小学校、伊佐市立牛尾小学校、伊佐市立山野小学校、伊佐市立平出水小学校、伊佐市立羽月小学校、伊佐市立羽月西小学校、伊佐市立曾木小学校、伊佐市立針持小学校、鹿屋市立鹿屋小学校、鹿屋市立祓川小学校、鹿屋市立東原小学校
★熊本市 (5)	5 〈高1,中1,小3〉	熊本市立必由館高等学校、熊本市立錦ヶ丘中学校、熊本市立尾ノ上小学校、熊本市立月出小学校、熊本市立山ノ内小学校
★光華女子学園 (3)	3 〈高1,中1,小1〉	京都光華高等学校、京都光華中学校、光華小学校
宮城教育大学 (4)	4 〈高2,中1,小1〉	宮城県仙台第二高等学校、宮城県宮城第一高等学校、宮城教育大学附属中学校、宮城教育大学附属小学校
★京都教育大学 (4)	3 〈高1,中1,小1〉	附属高等学校、附属桃山中学校、附属桃山小学校

ブロック別件数
北海道:1
東北:4
関東:5
中部:4
近畿:5
中国:4
四国:2
九州:4

★は平成26年度より継続。そのほかは平成27年度より継続。

小学校の新たな英語教育における補助教材について

1. 目的

- 文部科学省「英語教育の在り方に関する有識者会議」報告（平成26年9月）における提言を踏まえ、文部科学省において、小学校中・高学年における新たな英語教育の実施のために必要な補助教材「Hi, friends! Plus」を作成。
- 「英語教育強化地域拠点事業」の研究校等において、平成27年度から28年度の2年間を通じて、「Hi, friends!」及び「Hi, friends! Plus」を活用した取組の効果を検証。
- 検証結果を、中央教育審議会における次期学習指導要領、及び学習指導要領改訂後の新たな教材開発の検討において活用。

2. 補助教材のポイント

- 次期学習指導要領の改訂に向け、小学校高学年（5・6年生）については、身近なことについて基本的な表現によって「聞く」「話す」ことなどに加え、「読む」「書く」の態度の育成を含めたコミュニケーション能力の基礎を養うことができるよう、映像や音声を活用し、
 - ・アルファベット文字の認識、
 - ・日本語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴への気付き、
 - ・語順の違いなど文構造への気付き、等に関する指導に必要な新たな補助教材を開発し、効果を検証。
- 小学校中学年（3・4年生）については、「Hi, friends!」とあわせて活用するものとして絵本を作成。絵本の読み聞かせを通して、
 - ・日本語と英語の違いに気付き、
 - ・簡単な語句や基本的な表現などに慣れ親しむとともに、外国語を用いたコミュニケーションを体験する等に関する指導に必要な新たな補助教材を開発し、効果を検証。

3. 配布先

平成27年3月下旬以降、「英語教育強化地域拠点事業」の研究校を中心に、

- ・教育課程特例校、その他、先進的な英語教育を実施する小学校
- ・都道府県・市区町村教育委員会 等

にデジタル教材（CD-ROM）を配布

平成27年4月初旬～：

補助教材の「ワークシート等」「活動事例集」を文科省ホームページへ順次掲載・デジタル教材を配布

平成27年4月～28年度末まで
「英語教育強化地域拠点事業」の研究校等で活用・検証

平成29年度

次期学習指導要領に対応した新教材の開発・配布（文部科学省）

平成30年度以降

小学校で、新教材を使った先行実施の開始

外国語活動教材の現状と高学年教科教材の在り方

(文部科学省「英語教育の在り方に関する有識者会議審議(平成26年9月26日)」報告)

現状・課題

- 小学校における外国語活動においては、国により作成された小学校外国語活動教材例「Hi, friends!」が、希望する約2万校の学校に配布され、地域、学校、学級の実態に合わせて工夫・活用がなされている。また、児童の多くが外国語活動の授業や外国語学習に対して肯定的であり、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されてきている。
- 中1対象による調査では、「外国語活動の授業でもっと学習しておきたかったこと」への回答の割合として、「英語の単語を読むこと」が77.9%、「英語の単語を書くこと」が81.7%、「英文を読むこと」が77.6%、「英文を書くこと」が78.6%であり、音声中心の活動に比べて10ポイントほど高い数値である。小学校の外国語活動で音声中心に学んだことが、中学校での段階で音声から文字への学習に円滑に接続されていないこと、発音と綴(つづ)りの関係の学習や文構造の学習に課題があるなどの指摘があった。
- このような状況を踏まえ、小学校の外国語活動が導入されて一定の成果を上げているものの、中学校での学習への円滑な接続を考えると、小学校高学年段階において、文字の扱いや文構造への気付きなど、中学校との接続を意識した指導に有効な教科書・教材が必要である。

今後の方向性

- 先進的な取組も含めたこれまでの外国語活動の成果・課題を踏まえ、小学校中学年では、発達段階に応じた外国語活動に必要な教材の開発を行う。小学校高学年では、教科化に伴って教科書の整備が必要となる。また、教科化され、教科書が整備されるまでの間、国において、中学校との円滑な接続を意識した補助教材、及び新たな教材を作成する。
- 補助教材については、アルファベット文字の認識、日本語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴、文構造への気付きを促す指導ができるようなものとし、高学年における外国語の教科化において求められる教材等として、国の「英語教育強化地域拠点事業」における研究開発校等において、平成27年度より試行的に活用しながら、その効果を検証する。さらに、その検証結果を、小学校高学年の教科化に向け、新学習指導要領移行期に各学校において活用することを想定した新たな教材開発に生かすものとする。

(参考) H27・28年度「英語教育強化地域拠点事業」地域の小学校における教科化に向けた実践(イメージ)

小学校5・6年生の外国語活動:年間35時間
(Hi, friends!2 現行)

小学校5・6年生の教科型の授業:年間70時間程度
(Hi, friends!+Hi, friends! Plus+独自教材)

単元名	題材	目標例
Lesson 1	文字・言語	積極的に数字やアルファベット、世界の文字について尋ねたり答えたりする。
Lesson 2	行事・月日	世界の行事や習慣と、日本の祭りや行事を月ごとに取り上げ、友達と積極的に英語で話す。
Lesson 3	スポーツ・動作	スポーツなどできることを積極的に友達と尋ねたり答えたりする。
Lesson 4	建物・道案内	積極的に行き方を尋ねたり道案内をしたりしようとする。
Lesson 5・6	世界の国々・生活	自分の思いが伝わるように世界の国、生活、時差などを発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりする。
Lesson 7	日本の童話・世界の童話	英語で物語の内容を伝えようとする。まとまった話を聞いて内容がわかり、場面にあった台詞を考えて言えるようにする。
Lesson 8	職業・将来の夢	どんな職業につきたいか友達に尋ねたり答えたりする。世界の同年代の子供たちの夢を知り、自分の「夢宣言」をする。

新たな目標:身近なことについて基本的な表現によって「聞く」「話す」に加え、「読む」「書く」の態度の育成を含めたコミュニケーション能力の基礎を養う

教科化に向けて、26年度中に補助教材を作成・配布

- ◎ アルファベットの文字や単語などの認識
 - ◎ 日本語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴への気付き
 - ◎ 語順の違いなど文構造への気付き
 - 自信をもって英語で積極的に「聞く」「話す」ことができ、「読む」「書く」ことへの興味を育てるようにする。
- ※小学校段階の語彙数は400程度を想定しているが、今後、拠点地域の研究開発校などにおいて実証し、中央教育審議会において検討

◎ 題材の充実(例)

日本の行事に加え、地元の伝統行事、文化財、地場産物など、英語を通じて「ふるさとの魅力」に興味を持ち、自分なりに英語で説明できるようにする。



(参考) 外国語教育に係る教材等一覧

現状

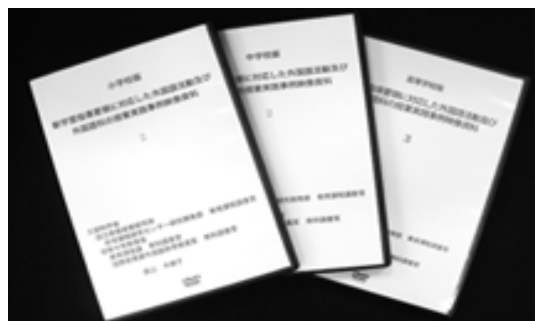


○“Hi, friends!”
小学校外国語活動の教材として平成24年度から文部科学省が希望する全国の小学校に配布。
平成27年度は約96%の学校に配布。
※指導編も併せて配付。
※指導案等もHPで公開。



○“Hi, friends!”デジタル教材
“Hi, friends!”に準拠し、英語の発音や絵カード、チャンツ等を収録した教材。“Hi, friends!”と共に全国の小学校へ配布。

○授業実践事例映像資料
学習指導要領に沿って行われている授業を録画・編集し、解説を加えて全国の学校に配布。これまでに小学校3種、中学校2種、高等学校3種を配布。



平成26年度開発 “Hi, friends! Plus”



教育委員会、
研究開発学
校等へ配付



掲載場所: 文部科学省HP→外国語教育→小学校の新たな外国語教育における補助教材の作成について

○小学校の新たな英語教育における補助教材
次期学習指導要領の改訂に向け、身近なことについて基本的な表現によって「聞く」「話す」ことに加え、「読む」「書く」の態度の育成を含めたコミュニケーション能力の基礎を養うことができるよう、映像や音声を活用し、

- ・アルファベット文字の認識、
- ・日本語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴への気付き、
- ・語順の違いなど文構造への気付き等、に関する指導を補助。

次項へ



○ 補助教材構成表

○ 活動事例

「英語教育強化地域拠点事業」の研究開発学校等での実践事例をもとに、ワークシートやデジタル教材の効果的な活用について紹介したものを、HPに掲載。

小学校高学年におけるそれぞれの補助教材について、ねらいと内容、内容の詳細を整理したものを、HPに掲載。

小学校高学年補助教材の内容（イメージ）				H27. 1. 29現在
形態	内容	ねらい	内容	内容の詳細
DVD-ROM (配布)	動画	アルファベット文字認識	書き方例	大文字 小文字
			クイズ	1 懐中電灯 2 文字当て 3 文字当て
		アルファベット文字認識 音の認識 単語になれる	小文字1枚画	アルファベット小文字・アルファベットの音 単語・単語の発音
	音の認識	アルファベット文字認識 音の認識 単語になれる	ジングル	アルファベット 動物 食べ物 国名
			クイズ	小文字探し・単語・語頭の音・意味(イラスト)
		音の認識	ジングル	アルファベット:5バージョン 動物:3バージョン 食べ物:3バージョン 国名:1バージョン 2単語:1バージョン

ワークシート活用の留意点

○ワークシート29・30について
ワークシート29は、デジタル教材Hi, friends! Plusの絵本教材 This is ME!で設けている動作を表す語句をまとめたものです。絵本の読み聞かせで十分慣れ親しんだ語句を文字で見ること、それぞれの違いがより明確になります。
また、ワークシート30は、この補助教材に關しての児童用Can-Doリスト形式での振り返りシートになっています。児童が自分でどのようなことができるようになったかを、確認するために活用してください。

左列には、スポーツをすることを表す語句、動物を表現することを表す語句、中央列には、スポーツや楽器以外で、目的語を伴う動詞を含む語句、右列には、動物一つだけでも意味を成すものを並べてあります。

雲の色が、四つの技能を表しています。
オレンジ色:聞くこと
黄緑色:言うこと
(話すこと)
ピンク色:読むこと
水色:書くこと

デジタル教材 アルファベット文字当て パズル

Which alphabet card do you want? Choose one, please. It's a present for you. Tomoe-san, which alphabet card do you want? (I want) The D card, please.

OK, the D card. Here you are. (「D」をクリック)

What alphabet letter is that? K!

Let's check your answer. Wow, great! That's right.

掲載場所: 文部科学省HP→外国語教育→小学校の新たな外国語教育における補助教材の作成について

小学校高学年補助教材の内容 (イメージ)				
形態	内容	ねらい	内容	内容の詳細
DVD-ROM (配布)	動画	アルファベット文字認識	書き方例	大文字 小文字
			クイズ	1 懐中電灯 2 文字当て 3 文字当て
		アルファベット文字認識 音の認識 単語になれる	小文字1枚画	アルファベット小文字・アルファベットの音単語・単語の発音
			ジングル	アルファベット 動物 食べ物 国名
		音の認識	クイズ	小文字探し: 単語・語頭の音・意味(イラスト)
			ジングル	アルファベット: 5バージョン 動物: 3バージョン 食べ物: 3バージョン 国名: 1バージョン 2単語: 1バージョン
	絵カード	単語になれる		
絵本(音声)	語順への気付き	世界平和 自己肯定感		
ワークシート(HP 掲載)	アルファベット文字認識	大文字	大文字なぞり 一文字一文字を書く 文字の一部に書き足して文字を完成する アルファベット順に書く 自分の姓を大文字で書く	
		小文字	小文字なぞり 一文字一文字を書く 文字の高さごとに書く 大文字とよく似た形の小文字を書く 大文字と少し似た形の小文字を書く 大文字とペアの小文字を書く アルファベット順に小文字を書く アルファベット順に大文字とペアの小文字を書く 大文字とペアの小文字を書く 3文字かためて書く 自分の姓名を大文字と小文字で書く 自校の名前を大文字と小文字で書く アルファベット小文字を聞き取って書く	
	音の認識	ジングル スクリプト	アルファベット 動物 食べ物 国名	
	単語になれる			
	語順への気付き	主語と目的語	絵本の英文の繰り返し部分	
			四線	
	辞書	動作を表す語句	絵本で扱う語句	
	Passport	CAN-DOリスト	小中連携を促すものとして作成	
活動事例集	アルファベット文字認識			
	音の認識			
	語順への気付き			

アルファベットの文字の認識（文字の読み方）

ワークシート

【ホームページに掲載されたワークシートを使い、英語の音声を聞きながら繰り返し練習することで、アルファベットの文字や単語への認識を高める】

英語の音声を聞きながら、アルファベットの文字や単語とイラストを関連付けて「読む」「書く」活動を通して、慣れ親しむことから定着を図る

英語の音声を聞きながら、アルファベットの文字をまとめて書く練習をしたり、単語の中の文字をなぞり書きしたりすることで、単語に慣れ親しむ

デジタル教材

【英語の発音（文字の読み方※レターネーム）とともに、アルファベットの文字の書き方を視覚的に修得する】

B は [bi:] という読み方を学び文字と一致させる

【一部が隠れたアルファベットの文字を見せて、アルファベットの文字を推測するゲームを通して、アルファベットの文字に対する認識を高める】

日本語と英語の音声の違いや特徴への気付き（文字の音）

【デジタル教材で英語の発音に触れながら、アルファベットの文字には、読み方（※レターネーム）と音（※レターサウンド）があることを知るとともに、様々な単語を言ったり聞いたりすることでアルファベットの音に慣れ親しむ】

ワークシート

ワークシート①-1

アルファベット欄

Grade	Class	Name
19		

アルファベットの文字の認識・音の認識

ワークシート②-2

動物欄

Grade	Class	Name
20		

アルファベットの文字の認識・音の認識

動物欄	Grade	Class	Name	
A a	B b	C c	D d	E e
apple	bear	cat	dog	elephant
F f	G g	H h	I i	J j
fan	gorilla	horse	iguana	jaguar
K k	L l	M m	N n	O o
king	lion	monkey	newt	ox
P p	Q q	R r	S s	T t
pen	quail	rabbit	snake	tiger
U u	V v	W w	X x	Y y
up	vulture	wolf	fox	yak
X x	Y y	Z z		
box	yo-yo	zebra	zoo	

デジタル教材(ジングル)

動画

ジングル

Alphabet

ネイティブの音声で
b[bi:], b[b], b[b],
bear[béə]と音声の流れる

Jingle

① ① (リピートA) ① (リピートB) ② ③

Play

おつろ ゆっくり

全パート カラオケ

終わる

デジタル教材で視聴するジングルの歌詞は、家庭など、外国語の授業以外で子供たちが学習内容を振り返るのに役立つ。

語順の違いなどの文構造への気付き（絵本の指導事例）

取組のねらい

- 簡単な英語の文を絵を使って視覚的に提示し、日本語の語順と比べて考えさせることで、英語の語順のきまりに気付かせる。
- 国語科で学習した内容を生かしながら、日本語の語順のきまりにも気付かせることで、言語に対する感覚を豊かにする。

指導の実際

対象学年：第6学年
 使用教材：Hi, friends! Plus ワークシート (⑪)
 ワークシートの絵を拡大して作成したペープサート(*)
 (*)紙人形劇で用いる、絵を描いた紙に棒をつけたもの

◆小学校の高学年になると、文構造や語順について分析的に捉える力も育ってくるため、こうした取組は児童の知的好奇心を刺激し、物事を論理的に思考しようとする習慣を身に付けるきっかけとなる。

学習活動

- ①指導者が話す英語の文を聞きながらペープサートの動きを見て、英語の文における主語と目的語の関係を体験的に理解する。
- ②Hi, friends! Plusワークシートで指導者が話す英語の文に合う絵を選ぶ活動を通して、英語の語順のきまりに気付く。
- ③英語の文を色分けして視覚的に示し、英語と日本語の語順の違いやそれぞれのきまりを理解する。※下図【板書例】を参照。
- ④主語と目的語を替えた文を使って、学習したことを確かめる。

Hi, friends! Plus ワークシート⑪-1



指導の効果

- ・日本語の助詞の働きに興味をもち、日本語は助詞によって文の意味が変わることに気付く児童もいた。
- ・小学校において文構造の違いやきまりなどに気付かせることで、中学校での論理的な学習にスムーズにつながる事が期待される。
- ・また英語の語順などの文構造について日本語と比較して考えることで、国語科で学習した知識が生かされ、国語科の学習への意欲を高めることにもつながる。

【板書例】語順への気付きより

The rabbit is chasing the lion.

The lion is chasing the dog.

1 2 3
The rabbit is chasing the lion

1 2 3
The lion is chasing the dog

? A Taku is chasing Hikaru.

? B Hikaru is chasing Taku.

文部科学省補助教材“Hi, friends! Plus”及びワークシートを活用

(参考)H28年度「英語教育強化地域拠点事業」地域の小学校3・4年生における外国語活動の実践(イメージ)

小学校3・4年生の外国語活動:週1コマ
(Hi, friends! 1+新たな補助教材+独自教材)

[小学校4年生の年間指導計画・イメージ]

単元	第4学年 題材	第4学年 目標例
Lesson 1	世界の言語・挨拶・小文字	初対面の挨拶に慣れ親しむ
Lesson 2	外国の学校・教室	積極的に友達を案内しようとする
Lesson 3	昆虫・動物・身の回りの物	身の回りの物の数を積極的に尋ねたり答えようとする
Lesson 4	大文字・小文字	あるものが何かを積極的に尋ねたり答えようとする
Lesson 5	動作・気持ちを表す語	まとまりのある話を聞いて概要を理解し、場面にあったせりふを積極的に言う
Lesson 6	大文字・小文字・身の回りの物	積極的に何が好きか尋ねたり答えようとする
Lesson 7	気持ちを表す語・身の回りの物・職業	大事にしているものについて積極的に紹介したり聞いたりしようとする
Lesson 8	動物・色・形状を表す語	あるものについて積極的に説明しようとする

新たな目標(イメージ):

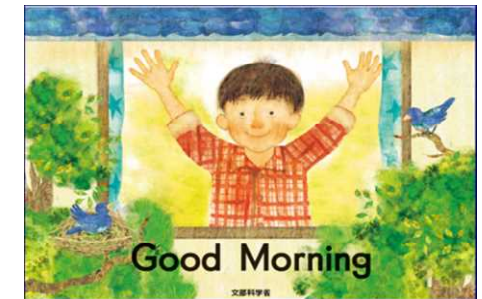
外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、身近なことについて積極的に聞いたり話したりしようとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地を養う。

◎ 絵本を題材にした活動や読み聞かせを通して、先生や友達と絵本の世界を楽しむことで、英語と日本語の音声の違いに気付き、絵本で扱われている簡単な語句や表現などに慣れ親しむとともに、外国語を使ったコミュニケーションを体験する。

～ 小学校3・4年生を対象とした新たな補助教材「絵本2種類」を、平成27年度中に作成・配布～

<小学校4年対象>

「Good Morning!」



- ・児童が起床から就寝までの自分の一日を友達に紹介する場面を設定。
- ・挨拶や感情表現、日常生活、学校生活を扱ったまとまりのある話を聞いて、児童がその概要を理解し、簡単な語句や表現を使って、話そうとする力を育成。